

函館工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	スポーツ科学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0036		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	物質環境工学科		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材							
担当教員	浦田 清,清野 國安,山科 栄子						
到達目標							
各種スポーツの基本的な技術を習得し、動きとして実技の中で実践することができる。また、毎時間授業に出席して、集団の一員としての役割と責任を自覚し、個人や集団の安全に注意しながら練習や試合に集中することができることが到達レベルである。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		標準的な到達レベルの目安に加えて、それぞれの実技試験（30点満点）において、1/3以上の点数を取る		授業へ遅刻、欠席、見学することなく安全に注意し集中して熱心に授業に取り組む		遅刻、欠席、見学が比較的多く、授業に集中しない又は熱心に取り組まない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 A							
教育方法等							
概要	スポーツを楽しむことができるように、それぞれの種目における基本的な技術を習得し、それをゲームに応用できるようにする。 毎時間授業に出席して、集中力をもって積極的に授業に取り組む姿勢が大切である。						
授業の進め方・方法	出欠・見学・授業態度（70%）、実技試験（30%）で定期試験時に評価する。70%のうち1時限あたりの欠席は5点、見学は3点を減点する。また、次に該当するような授業態度（熱心に取り組まない、指示に従わない、授業におけるルールを守らない、他人に迷惑を掛ける、集団行動を乱す等）も程度によって減点とする。 各定期試験時の評価は均等とする。						
注意点	・健康管理に配慮して、スポーツ実技・試験に参加すること。 ・安全に注意し、集中力を発揮して積極的に授業に取り組むこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス スポーツテスト（屋内）		今年度の授業の要点を理解できる 自己の体力水準を把握する		
		2週	バレーボール		オーバーハンドパスができる アンダーハンドパスができる サービスができるサービスレシーブができる スパイクが打てる ラリーの続くゲームができる		
		3週	バレーボール		オーバーハンドパスができる アンダーハンドパスができる サービスができるサービスレシーブができる スパイクが打てる ラリーの続くゲームができる		
		4週	バレーボール		オーバーハンドパスができる アンダーハンドパスができる サービスができるサービスレシーブができる スパイクが打てる ラリーの続くゲームができる		
		5週	バレーボール		オーバーハンドパスができる アンダーハンドパスができる サービスができるサービスレシーブができる スパイクが打てる ラリーの続くゲームができる		
		6週	バレーボール		オーバーハンドパスができる アンダーハンドパスができる サービスができるサービスレシーブができる スパイクが打てる ラリーの続くゲームができる		
		7週	バレーボール		実技試験		
		8週	前期中間試験		実技試験		
	2ndQ	9週	スポーツテスト（屋外）		自己の体力水準を把握する		
		10週	サッカー		各種キックができる 各種トラップ、ヘディングができる パスからシュートへの関係プレーができる 集団技能を用いゲームができる		
		11週	サッカー		各種キックができる 各種トラップ、ヘディングができる パスからシュートへの関係プレーができる 集団技能を用いゲームができる		
		12週	サッカー		各種キックができる 各種トラップ、ヘディングができる パスからシュートへの関係プレーができる 集団技能を用いゲームができる		
		13週	サッカー		各種キックができる 各種トラップ、ヘディングができる パスからシュートへの関係プレーができる 集団技能を用いゲームができる		

後期		14週	サッカー	実技試験
		15週		
		16週	サッカー	実技試験
	3rdQ	1週	柔道（男子） ダンス（女子）	礼法，後受身，横受身，前回り受身ができる 投技（足技，手技，腰技）の約束練習ができる 投技（手技，腰技，足技）の自由練習ができる リズムに乗ってより生き生きと美しく全身で音楽を表現できる 種目別リズムの特徴を理解し，正しいフットワークができる 他者と協調することにより，コミュニケーション能力を高め， 表現の幅をさらに広めることができる それぞれの作品を発表することにより，表現力を高め，達成感を感じることができる
		2週	柔道（男子） ダンス（女子）	礼法，後受身，横受身，前回り受身ができる 投技（足技，手技，腰技）の約束練習ができる 投技（手技，腰技，足技）の自由練習ができる リズムに乗ってより生き生きと美しく全身で音楽を表現できる 種目別リズムの特徴を理解し，正しいフットワークができる 他者と協調することにより，コミュニケーション能力を高め， 表現の幅をさらに広めることができる それぞれの作品を発表することにより，表現力を高め，達成感を感じることができる
		3週	柔道（男子） ダンス（女子）	礼法，後受身，横受身，前回り受身ができる 投技（足技，手技，腰技）の約束練習ができる 投技（手技，腰技，足技）の自由練習ができる リズムに乗ってより生き生きと美しく全身で音楽を表現できる 種目別リズムの特徴を理解し，正しいフットワークができる 他者と協調することにより，コミュニケーション能力を高め， 表現の幅をさらに広めることができる それぞれの作品を発表することにより，表現力を高め，達成感を感じることができる
		4週	柔道（男子） ダンス（女子）	礼法，後受身，横受身，前回り受身ができる 投技（足技，手技，腰技）の約束練習ができる 投技（手技，腰技，足技）の自由練習ができる リズムに乗ってより生き生きと美しく全身で音楽を表現できる 種目別リズムの特徴を理解し，正しいフットワークができる 他者と協調することにより，コミュニケーション能力を高め， 表現の幅をさらに広めることができる それぞれの作品を発表することにより，表現力を高め，達成感を感じることができる
		5週	柔道（男子） ダンス（女子）	礼法，後受身，横受身，前回り受身ができる 投技（足技，手技，腰技）の約束練習ができる 投技（手技，腰技，足技）の自由練習ができる リズムに乗ってより生き生きと美しく全身で音楽を表現できる 種目別リズムの特徴を理解し，正しいフットワークができる 他者と協調することにより，コミュニケーション能力を高め， 表現の幅をさらに広めることができる それぞれの作品を発表することにより，表現力を高め，達成感を感じることができる
		6週	柔道（男子） ダンス（女子）	礼法，後受身，横受身，前回り受身ができる 投技（足技，手技，腰技）の約束練習ができる 投技（手技，腰技，足技）の自由練習ができる リズムに乗ってより生き生きと美しく全身で音楽を表現できる 種目別リズムの特徴を理解し，正しいフットワークができる 他者と協調することにより，コミュニケーション能力を高め， 表現の幅をさらに広めることができる それぞれの作品を発表することにより，表現力を高め，達成感を感じることができる
		7週	柔道（男子） ダンス（女子）	実技試験
		8週	後期中間試験	実技試験
	4thQ	9週	バスケットボール	正確なパスができる 正確にレイアップシュートができる セットシュート，ジャンプシュートができる ゴール下のシュートが確率良く入れられる ゲームができる
		10週	バスケットボール	正確なパスができる 正確にレイアップシュートができる セットシュート，ジャンプシュートができる ゴール下のシュートが確率良く入れられる ゲームができる

		11週	バスケットボール	正確なパスができる 正確にレイアップシュートができる セツトシュート、ジャンプシュートができる ゴール下のシュートが確率良く入れられる ゲームができる
		12週	バスケットボール	正確なパスができる 正確にレイアップシュートができる セツトシュート、ジャンプシュートができる ゴール下のシュートが確率良く入れられる ゲームができる
		13週	バスケットボール	正確なパスができる 正確にレイアップシュートができる セツトシュート、ジャンプシュートができる ゴール下のシュートが確率良く入れられる ゲームができる
		14週	バスケットボール	実技試験
		15週		
		16週	バスケットボール	実技試験

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	出欠・見学・態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	0	0	70	0	0	100
基礎的能力	30	0	0	70	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0